



北海道地方測量部 水防演習参加の様子

CONTENTS

1. 令和8年国土地理院表彰式を実施	2
2. 「測量の日」関連行事を実施	
●九州地区では「測量の日」記念講演会を開催	4
3. 総合水防演習に参加	
●令和8年度石狩川水系幾春別川総合水防演習に参加	5
●令和8年度天竜川下流連合総合水防演習に参加	6
●令和8年度芦田川総合水防演習に参加	7
4. 「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数	8
5. 7月の報道発表・9月の主な行事予定	8



令和8年国土地理院表彰式を実施

7月16日に令和8年国土地理院表彰式を執り行いました。

式典では、測量事業の推進に功績のあった方、令和7年度に完了した国土地理院発注の測量業務において特に優れた成績を収めた測量業務の実施者及び技術者に対して、表彰状を授与しました。

また、長年、験潮場の看視者として保守及び測定業務に精励した方に対し、国土地理院長から感謝状を授与しました。

受賞者は、次の方々です。(敬称略)

国土地理院長表彰

◆測量事業関係功労者(1名)

功労者名	職 名
小島 武也	株式会社武揚堂 代表取締役 一般社団法人地図調製技術協会 会長

◆優良業務(6件)

事業者名	優良業務名
株式会社オーシスマップ	電子国土基本図(オルソ画像・地図情報)作成更新業務(R7関東九州)
大成ジオテック株式会社	精密水準測量及び地盤沈下調査水準測量(佐賀地区)
株式会社テクノマップ	電子国土基本図(オルソ画像・地図情報)作成更新業務(R7四国2)
株式会社八州	水準測量(牡鹿・村山地区)
東日本総合計画株式会社	水準測量(日本水準原点1地区)
株式会社淀川アクテス	防災対策地域水準測量(紀伊南地区)

◆優良技術者(5名)

技術者名	事業者名
上田 昌明(主任技術者)	株式会社テクノマップ
桑野 武也(作業班長)	大成ジオテック株式会社
鯨島 剛平(主任技術者)	株式会社八州
西村 智博(作業班長)	国際航業株式会社
平井 幸男(主任技術者)	株式会社淀川アクテス

国土地理院長感謝状

◆験潮場看視者(12者)

氏 名	験潮場名
旭測量設計株式会社	焼津験潮場(静岡県焼津市)
安藤 香里 ^{あんどう かおり}	鬼崎験潮場(愛知県常滑市)
伊豆漁業協同組合田子支所	田子験潮場(静岡県賀茂郡西伊豆町)
伊藤 修 ^{いとう おさむ}	小木験潮場(新潟県佐渡市)
いとう漁業協同組合富戸支所	伊東験潮場(静岡県伊東市)
株式会社ケイディエム	細島験潮場(宮崎県日向市)
佐藤 秀樹 ^{さとう ひでき}	飛島験潮場(山形県酒田市)
有限会社測地設計	油壺験潮場(神奈川県三浦市)
中村 剛一 ^{なかむら こういち}	忍路験潮場(北海道小樽市)
日本建設技術株式会社	仮屋験潮場(佐賀県東松浦郡玄海町)
株式会社みなと	鼠ヶ関験潮場(山形県鶴岡市)
森下 道子 ^{もりした みちこ}	三国験潮場(福井県坂井市)



国土地理院長表彰・感謝状受賞者

(総務部・企画部)

「測量の日」関連行事を実施

●九州地区では「測量の日」記念講演会を開催

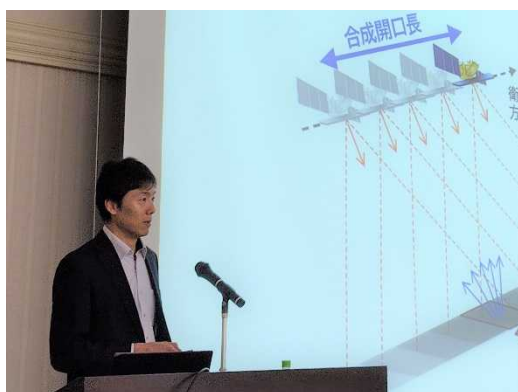
九州地方測量部は、(一社)福岡県測量設計コンサルタンツ協会との共催により6月30日に福岡県中小企業振興センター(福岡市東区)で「令和8年度「測量の日」記念講演会」を開催しました。

九州地方測量部は、新しい測量技術や測量に関わるプロジェクトなどを測量関係者に広く紹介し、測量技術の向上に寄与するため、「令和8年度「測量の日」記念講演会」を開催しました。この講演会は平成19年から開催しており、今年で18回目となります。



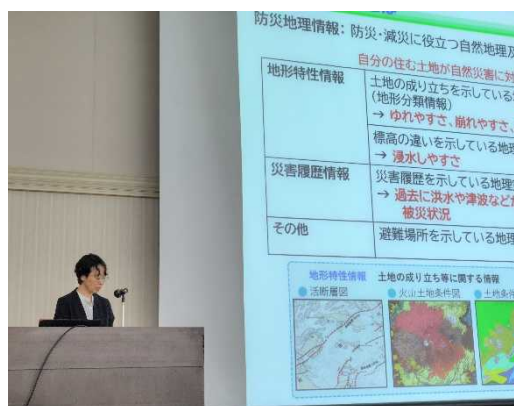
講演会の様子

国土地理院の講演は、今後さらに衛星SARの技術が広く活用されることが見込まれること、国土地理院が整備する地理空間情報とその活用について知っていただき、参加者の防災意識と知識の向上に寄与することを目的としてテーマを選定しました。



若杉課長の講演

若杉貴浩^{わかすぎたかひろ}宇宙測地課長が「衛星SARを活用した国土管理の取組と今後の展開」、稲澤容代^{いなさわひろよ}地理調査課長補佐が「防災・減災に役立つ地理空間情報の整備と活用」をテーマに講演を行いました。



稲澤課長補佐の講演

ほかにも、株式会社ニコン・トリンブル^{あべたけし}阿部武史氏から「AI画像計測システムを使用したクラック調査の方法について」、福井コンピュータ株式会社^{みなみ}南曲和也氏から「BIM/CIM最新動向と新たな点群活用法について」と題した講演をいただきました。

参加者は、測量技術の新たな活用法や測量・設計分野における最新の動向について真剣に聴講していました。

また、今回は国土地理院の各種取組を紹介するパネル展示も行い、多くの参加者の関心を集めていました。



パネルを見る参加者

なお、より多くの方々に聴講いただくため、参加費を無料にした結果、今年度は昨年度より倍以上の184名に聴講いただきました。

九州地方測量部は、今後も「地図と測量」の重要性をご理解いただけるよう、関係各団体と協力して取組を進めてまいります。(九州地方測量部)

6月6日に開催された石狩川水系幾春別川総合水防演習において、北海道地方測量部長が演習統監部の一員として演習に参加するとともに、北海道地方測量部は展示ブースを出展し、地理空間情報を活用した防災の取組を紹介しました。

本総合水防演習は、石狩川下流域における洪水等の災害に備え、防災関係機関の連携強化と水防技術の向上・伝承を図るとともに、地域社会全体の防災意識の高揚及び水防に対する地域住民の理解促進を目的として実施しました。

◆総合水防演習

この演習は、国土交通大臣政務官、北海道知事、北海道開発局長等に加えて、一般見学者を含む約1,200人の参加のもと実施されました。

演習では、大型台風による風水害を想定し、水防工法訓練、被害状況調査訓練及び被災者救助訓練を実施しました。当日は強風、降雨、低温といったあいにくの天候でしたが、悪状況の中でより練度を高められた訓練となりました。

また、会場内の特設スペースでは、北海道開発局や陸上自衛隊の特殊車両展示のほか、災害をテーマとした展示ブースが各機関により設置され、防災意識の向上が図られました。

なお、演習会場では大型ビジョンを活用し、演習の実施状況や関係機関の取組状況を随時放映しました。開会式前の協力機関紹介では、国土地理院の災害対応の取組として、空中写真撮影、浸水推定図及び自然災害伝承碑に関する動画を放映しました。



演習参加の様子

これらを通じて北海道地方測量部は、北海道の

水防関係機関との認識の相互共有を進めました。

◆展示ブース

北海道地方測量部の展示ブースでは、北海道全域及び会場周辺の色別標高図や治水地形分類図などのパネルを展示しました。また、来場者に地理院地図やハザードマップポータルサイトを閲覧していただけるよう PC を設置したほか、地理院地図及び自然災害伝承碑に関するパンフレットを配布しました。

展示ブースでは、一般見学者や演習参加者が熱心にパネルを見学する様子が見られました。色別標高図や触れる立体地図は親子連れにも好評でした。



展示ブースの様子

今後も北海道地方測量部では、各機関が実施する防災訓練へ積極的に参加し、地理空間情報の活用推進を通じて、道内における災害対応力の向上に貢献してまいります。

(北海道地方測量部)

総合水防演習に参加

●令和8年度天竜川下流連合総合水防演習に参加

5月31日に、静岡県浜松市の天竜川かささぎ大橋上流河川敷で令和8年度天竜川下流連合総合水防演習が開催され、^{やまだよしとか}山田美隆中部地方測量部長が副統裁として本部に列席し、演習では「くにかぜⅢ」緊急撮影の動画放映と「浸水推定図」を現地災害対策本部に持ち込む実動訓練を実施しました。

中部地方では、岐阜県内を流れる木曽三川をはじめ、静岡県内にも大きな河川が多数あり、ひとたび水害が発生すると甚大な被害が発生してきました。

その対策として、この地域では水防団の活動が重要であり、日々、技術の向上を図っています。

令和8年度の水防演習は、中部地方整備局、静岡県及び近隣市町が主催となり、天竜川下流域における洪水被害を想定し、水防技能の向上と防災関係機関の連携体制の確立を図ることを目的に開催されました。

演習内容は、限られた時間内で実践的な訓練を行うため、二つの内容が同時に進行しました。

一つ目は、台風による大規模な水害で堤防が破堤するまでを想定した「水防活動」、二つ目は堤防が決壊したことを想定し、破堤箇所を一時的に締める作業である荒締切による「応急復旧」。荒締切の演習は天竜川下流域の水防団・消防団や大学生等が行いました。

中部地方測量部は、演習において「くにかぜⅢ」による緊急撮影の様子を動画で放映後、撮影した空中写真等をもとに作成した「浸水推定図」を現地災害対策本部に持ち込む実動演習を実施しました。

展示ブースでは、国土地理院の災害対応、防災意識向上のための会場周辺の空中写真(2時期)、地形図、土地条件図及び自然災害リスクを伝える(浸水推定図、自然災害伝承碑、アナグリフ)パネルを展示し、来場者へ説明しました(写真1、写真2)。さらに、ウェブ地図「地理院地図」を用いて、浜松市、磐田市における旧河道や自然堤防などの地形分類を表示し、土地の成り立ちを来場者に説明しました。



浸水推定図説明の様子(写真1)



アナグリフ体験の様子(写真2)

中部地方測量部では、今後も関係機関が実施する水防演習等に積極的に参加し、国土地理院の災害対応業務の紹介及び防災教育の啓発を図るとともに、関係機関と連携し、防災・減災の推進に貢献していきます。

(中部地方測量部)

総合水防演習に参加

●令和8年度芦田川総合水防演習に参加

5月23日、広島県福山市で令和8年度芦田川総合水防演習(広島県福山市)が開催され、中国地方測量部は被災状況調査の演習に参加するとともに、展示コーナーを出展し、国土地理院の防災に関する取組を紹介しました。

芦田川総合水防演習は、芦田川流域における洪水及び土砂災害の発生を想定し、水防技術の向上・伝承並びに幅広い主体の参加による地域全体の防災意識の向上、災害対処能力の向上を図ることを目的に、中国地方整備局及び関係地方公共団体の主催により、多くの関係機関が参加して開催されました。

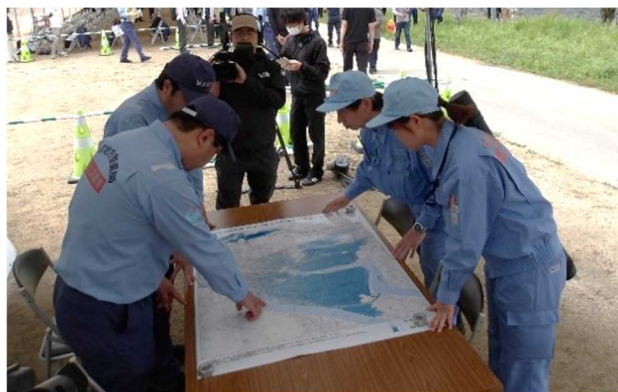


開会式の様子

被災状況調査の演習では、測量用航空機「くにかぜⅢ」による空中写真撮影の動画を会場メインスクリーンで放映し、撮影した空中写真等を基に浸水推定図を作成した想定で、演習用の浸水推定図を現地災害対策本部へ提供し、本部員に説明を行いました。



メインスクリーンに映し出された浸水推定図



浸水推定図を本部員(左)に説明する様子

また、展示コーナーで災害への取組や防災に関連するパネル展示を行い、動画を用いて緊急撮影の様子や浸水推定図を紹介しました。

展示コーナーでは、

- ・国土地理院の役割
- ・浸水推定図
- ・自然災害伝承碑
- ・演習会場周辺のA0判カラーアナグリフ
- ・空中写真及び地形図

などについて、来場者に説明を行いました。

多くの方に国土地理院の取組を知っていただく良い機会となりました。



展示コーナーの様子

当日は天候に恵まれ、多くの方に来場いただきました。

今後も災害発生時に迅速な対応が図られるよう、平時から関係機関との連携を一層強化し、関係機関が実施する防災訓練へ積極的に参加していきます。

(中国地方測量部)

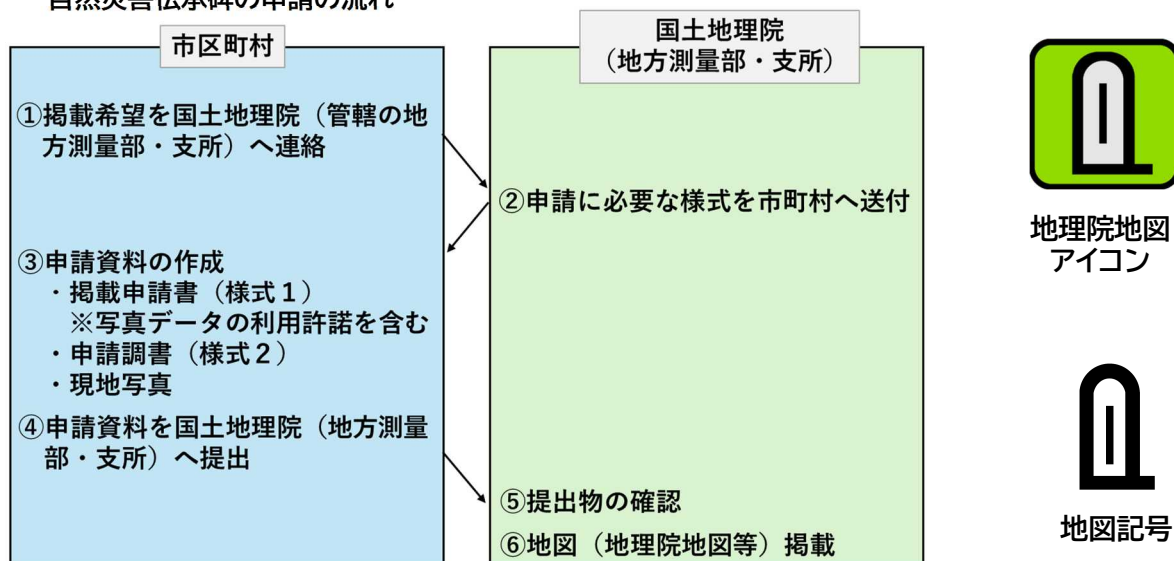
○「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数

令和8年8月25日現在

47	都道府県	683	市区町村	2463	基
----	------	-----	------	------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ(<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>)をご覧ください。
[市区町村の担当者の皆様へ]自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は以下のページをご覧ください。

https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html

○7月の報道発表

発表日	件名	担当部署
1日	これでわかる！身の回りの自然災害リスク ～北海道などの地形分類データ「数値地図25000(土地条件)」を公開～	応用地理部
8日	令和8年6月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター
9日	令和8年測量士試験の合格者を発表	企画部
9日	測量や地図記号のパネルを展示！ ～岐阜県図書館の夏の風物詩、わくわく地図教室で初めて展示します～	中部地方測量部
16日	測量事業関係功労者等を表彰 ～測量技術の向上と測量事業の推進のために～	人事課 企画部
21日	「地理空間情報の活用促進のための協力協定」を締結 ニセコ町の行政サービス向上や迅速かつ効果的な防災・減災の推進を図ります	北海道地方測量部
21日	「地理空間情報の活用促進のための協力協定」を締結 真狩村の行政サービス向上や迅速かつ効果的な防災・減災の推進を図ります	北海道地方測量部
28日	令和8年熊本地震に伴う地殻変動(暫定)	測地観測センター

報道の内容は、国土地理院ホームページ>2026年 報道発表資料一覧

(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2026.html>)をご覧ください。

○9月の主な行事予定

月日	行事
7/14～9/23	地図と測量の科学館 企画展「昭和100年」

国土地理院広報は、
国土地理院ホームページ>広報誌>国土地理院広報
(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/>)に掲載しています。

発行 **国土交通省国土地理院**
Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
TEL 029-864-6255
FAX 029-864-6441



連絡先: 総務部広報広聴室
国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/>